

私の初恋

NGUYEN KIM XUYEN

教育学部 交換留学生 ベトナム

私はベトナムから来た。今まで、家族から離れて暮らしたことが一度もない。今回、和歌山に来て一人で暮らすのが初めてだ。やはり、大変だ。国際交流会館に入ったばかりのとき、誰も知らなく、誰にも会わなかった。というのは、会館に住んでいる皆が自分の部屋にいて外に出ず、私もそうしたからだ。いつも暑いところで生活をしていた私にとって、日本人にとってあまり寒くない春は、私には寒かった。和歌山に着いてから、一週間に新学期が始まった。その一週間、私は誰にも会わず、誰とも話さなかった。本当に寂しく、ベトナムに住んでいる家族と友達を思い出し、部屋でコンピューターを使ったり寝たりすること以外、何をすべきかどこへ行くべきか分からなかった。人間は暇すぎるのはいいことではない。一番孤独の時に、私は和歌山市で「初恋」をした。相手は、MESAだ。

MESAに「初恋」をしたというのは全然言い過ぎない。MESAは会館の隣なので、歩いて2分で行ける。そこに私のほしい物が何でもある。作った料理、飲み物、お菓子、甘いもの……。ベトナム料理の材料もある。一番物価が高いスーパーマーケットだが、私にとって一番便利だ。あちこちに行かなくても、自分のほしいものが得られる。たとえば、最近「甘い豆腐」というベトナム料理を食べたくなった。その豆腐は普通の豆腐ではなく、すごく柔らかい豆腐だ。食べたかったら、自分で豆腐をつかなければならない。しかし、MESAでそのような豆腐を見つけた。本当に嬉しかった。MESAがもっと好きになった。

特に、本屋があるのも大好きな理由の一つだ。本屋はTSUTAYAだ。毎回毎回、いつも本屋に入ると、私は帰りたくなくなる。なぜなら、買いたくて読みたい本やマンガがいっぱいあるからだ。自分がほしい本が見つけれられる。また、二階は本とDVDのレンタルの店になっている。10冊を一週間でレンタルしても500円しかかからない。1冊を買うより10倍安い。DVDのレンタルも安い。だから、たくさんマンガが読めるようになった。そして、STARBUCKSもある。レンタルしたあとで、STARBUCKSで美味しいコーヒーを飲みながら、ゆっくり借りたマンガを読んだり、外の景色を眺めたりする。MESAに入るのは楽園に入るみたいだ。時々、一人で暮らし、友達と家族を思い出し、非常に寂しくなっていて、泣いていた。でも、MESAに行くようになってから、泣く回数も減ってきた。

私はMESAで、最初の一週間で過ごした。MESAのおかげで、少し楽しくなった。後になって、MESAより安いスーパーマーケットを見つけたが、やはりMESAが一番好きだ。それに、私は自転車に乗るのが下手だ。自転車に乗って何度もトラブルを起こした。何度も泣いた。MESAはけっこう近いから、自転車に乗らなくても歩いて2分で行ける。すごく便利だ。最初の印象が大切だという言葉がある。私にとって、MESAの印象がすごくいいから、MESAが一番好きだ。今でも、ストレスがあると、MESAに行く。食べ物、飲み物、マンガ、DVDが買え、レンタルできるだけではなく、落ち着ける気がする。和歌山の人もすごくいいが、人は、ずっと自分のそばにいてくれるわけではない。でも、MESAは違う、この一年間、いつも自分のそばにある。私は行きたい時、行ける。話したくない時、一人

でいたい時、MESA へ行ける。だから、私は、MESA に恋をした。MESA が好き、私の「初恋」であるからだ。つまらない時、寂しい時、楽しい時、会いに行くというのは恋人のことと同じだろう。



私の「初恋」



「甘い豆腐」